TGM PM5-A4 RTB

G&G アーマメント

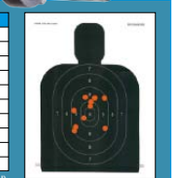
● TEXT：モロ☆
●撮影協力：BLAM!!

革新のバッテリーシステムを引っ提げてスーパーリアルなMP5がついに登場!

DATA
■全長：555mm ／ 695mm（ストック伸張時）
■重量：2,685g　■装弾数：200 発
■価格：￥オープン
■お問い合わせ先：
G&G アーマメント　http://www.guay2.com/

初速（m/s）	
1発目	85.5
2発目	84.5
3発目	81.9
4発目	84.6
5発目	87.1
6発目	86.9
7発目	85.8
8発目	86.4
9発目	86.3
10発目	85.0

平均……85.4m/s(0.73J)
※気温 27℃　東京マルイ 0.2g 弾使用



集弾性……103mm(20m)

男は黙ってMP5

海外ドラマで「フラッシュポイント」というドラマがある。カナダ警察の特殊部隊SRUを描いたストーリーなのだが、他のドラマと最も大きな違いは、いかに犯人を「傷つけずに」確保するかに重点を置いている。警察の特殊部隊なので、通常のファイアアームズも所持する彼らだが、できるだけ発砲せずに非殺傷兵器の数々を用いて犯人を確保するという、実に緊張感溢れるストーリーなのだ。普通のドラマだったら「撃っちゃえよ」というシチュエーションでも彼らは撃たない。彼らの信念は「我々の任務は、犯人を倒すことではない。すべての人を無傷で救うこと」。そんなSRU隊員達のメインウェポンのほとんどがMP5なのだ。決して制作年度が古いドラマではないのだが、より高威力なM4系などのコンパクトなアサルトライフルではなくピストル弾を使用するMP5を装備しているあたりが、このSRUという部隊の性格を物語っている。やむなく発砲する際も、いたずらに傷つけることなく最小限の被害に留める。そのためのMP5なのである。そういった彼らの姿勢には、ローエンフォースメントの本質が見え隠れする。

欲しくなってしまった1挺

やたらと前置きが長くなってしまったが、それもこれもこのMP5が非常にリアルだからである。メタル製のレシーバーはMP5の特徴を溶接痕に至るまでリアルに再現されており、例えばストックのリリースレバーを捻ると少しだけストックが飛び出すアクションや、コッキングレバーと同期したエジェクションポート、そしてリアルなハンドガード等々、MP5好きにはたまらない仕様なのである。ただ一点、気になるのはハンドガードである。サイズは非常にリアルだが、ハンドガード内部に端子が見て取れる。実はこの銃、ハンドガードそのものがバッテリーになっているのだ。充電している姿はまるで家庭用電話機の子機のようだが、非常にユーザビリティは高い。なにせ、ハンドガードを交換するだけで済むのだ。ハンドガードを外すにはピンを一本抜くだけである。また、フィールドストリッピングもピンを抜くだけだ。そしてさらに、発射に合わせてエジェクションポートが前後動するアクションも装備している。

散々ご託を並べてきたが、個人的にMP5に対する思い入れが強いというだけの話である。しかし、その思い入れが強い人物がこれだけ心動かされてしまうという事実をご理解頂きたい。MP5マニアにも、これからMP5を扱ってみたいというビギナーにも、ぜひ一度は手にして頂きたい1挺である。

いわゆるPDWタイプハイダーを標準装備としている。ワンタッチで取り外し可能なので、他のオプションパーツを取り付けるのも容易に行なえる

コッキングレバーはもちろんフルストロークで作動する。フルメタルのボディなので作動音も心地よく、また剛性も非常に高いのが特徴だ

バッテリーが内蔵されているとは思えないほどスリムなシルエットのハンドガード。ピンを引き抜くとハンドガードが外せるので、バッテリー交換に要する時間も短い

このMP5から採用されたピクトグラムによるセレクター表記は、今やH&Kのアイデンティティともいえる存在になっている。ナイロンファイバー樹脂製グリップは肌触りもリアル

実銃はプレス製だが、このMP5はロストワックス製となっている。が、そんなことはみじんも感じさせないリアリティが漂うレシーバーだ。細かい部分もしっかりと再現されている

エジェクションポートはコッキングレバーと同調している。エジェクションポート内部の銃口側に配されている黒いレバーは、可変ホップアップの調整用レバーである

少々チェッカリングが甘いものの、リアルに再現されたリアサイト。作動も確実で、またサイトピクチャーもシャープである。もちろん上下左右の調整機構もライブだ

ストックは最新型Fタイプリトラクタブルストックを装備。バットプレートも厚く、構えやすい。また、ゴム製バットプレートは滑りにくいので、銃を固定しやすい

3段階の調整が可能なストックを最大限まで伸ばしたところ。剛性感も高く、しっかりと構えることができる。このストックもまた、MP5のアイデンティティといえるだろう

マガジンは200連の多弾装マガジンが標準装備。マガジンキャッチは実銃同様、レバーとボタンのどちらでも操作が可能な仕様となっており、素早いマガジン交換にも対応できる

ぱっと見ると正体不明だが、よくよく見るとハンドガードであることが分かる。充電する際もクレイドルに載せるだけの簡単な操作である。さすがはG&G、恐るべき技術力だ

ピンを2本抜くだけで、簡単にメカボックスが内蔵されたグリップフレームを取り出すことができる。メカボックス上にある黒いパーツはブローバックユニットである